



4th ASPIRE Undergraduate
Research Academy
Student Report

報告年月日 2017 年 7 月 31 日

留学プログラム名	4 th ASPIRE Undergraduate Research Academy	
所 属 学 院 等 (学院／類／学部／研究科)	工学部	
所属系・コース等 (系・コース／学科／専攻)	無機材料工学科	
氏 名	K.I.	
留 学 先 国	大韓民国	
留 学 先 大 学 等	韓国科学技術院 (KAIST)	
留 学 期 間	プログラム期間：	2017 年 7 月 17 日 ～ 2017 年 7 月 21 日
	実際滞在期間：	2017 年 7 月 17 日 ～ 2017 年 7 月 21 日

4th ASPIRE UGRA プログラム報告書

① 留学先（参加プログラム／受入れ機関）の概略

今回私が参加した留学プログラムは 4th ASPIRE UGRA プログラムであり、今年は韓国の KAIST で開かれました。プログラム期間は 2017 年 7 月 17 日～7 月 21 日であり、参加大学は東工大の他に KAIST、清華大学、香港科技大学、南洋理工大学で、計 20 名の学生が参加しました。詳しい日程表は以下の表の通りです。

表 1 プログラムの旅程表

Time	Day 0 (Mon, July 17, 2017)	Venue	Time	Day 2 (Wed, July 19, 2017)	
~17:00	Arrival and check in	Sarang Hall(Male students)-N14 Areum Hall(Female students)-N19 *Students who may arrive early can have campus tour! Contact with your student buddies@	09:00 - 10:00	3 Presentations + Q&A	#204, W2-1 Building
			10:00 - 11:00	3 Presentations + Q&A	#204, W2-1 Building
			11:00 - 12:00	2 Presentations + Q&A	#204, W2-1 Building
			12:00 - 13:00	Lunch	We will take the bus and go to have lunch together. Then we will do industrial visit(ETRI). Then have time to do fun games!
			13:00 - 14:00	Industrial visit (ETRI), Fun Games(Laser gun, Bowling)	
			14:00 - 18:00		
17:00-18:00	Introduction to KAIST, Program Briefing, Ice Breaking activities + Q&A	#204, W2-1 Building *It is highly recommended to arrive at #204 W2-1 Building, Please arrive at no later than 17:00 so that you can take the orientation and ice breaking activities.	18:00 - 20:00	Farewell Dinner & Award Ceremony	VESTA(Great Buffet) Award winner will be prized!
			Time	Day 3 (Thu, July 20, 2017)	
18:00-19:00	Dinner	Korean Food SSambab (Rice wrapped in greens and beefs) *We will altogether walk out to the Korean restaurant near KAIST.	All Day	Field trip to amusement park Everland/	Yeah! The bus will depart at 9:00 Students are recommended to gather in front of W2-1 Building by 9:00
			Time	Day 4 (Fri, July 21, 2017)	
Time	Day 1 (Tue, July 18, 2017)		Before noon	Check out and departure	If you want, you can contact to your designated buddies so that they can help you arrange the things that you need.
09:00 - 10:30	Lecture 1	#204, W2-1 Building			
10:30 - 11:00	Coffee Break				
11:00 -12:00	Lecture 2	#204, W2-1 Building			
12:00-13:00	Lunch	School cafeteria			
13:00-14:00	3 Presentations + Q&A	#204, W2-1 Building			
14:00-15:00	3 Presentations + Q&A	#204, W2-1 Building			
15:00-15:30	Coffee Break				
15:30-17:00	4 Presentations + Q&A	#204, W2-1 Building			
17:00-18:00	3 Presentations + Q&A	#204, W2-1 Building			
18:00-19:00	Dinner				

このプログラムでは学部生が集まって自らの研究内容を発表することをメインにしています。前半の日程では参加学生の発表が行われ、後半の日程では学生同士の交流のためにゲームをしたり、遊園地に行きました。

② 留学前の準備

このプログラムに参加するための事前準備として主だったものはプレゼンの準備です。出発の約 2 週間前に、東工大で先生たちと事前練習会を開催し、本番に備えました。また、他大学とは異なり、東工大の学生はまだ 2 か月ほどの研究内容で発表しなければならないため、なるべく研究に勤しむように努力しました。

その他の事前準備としては航空券の手配、空港から KAIST までの交通を調べる事が挙げ

られます。また、プログラム中は基本的に英語を用いるため、研究室の留学生とたくさん話すなどして英語での会話に慣れた状態にするように努力しました。

③ 留学中の活動及び感想

留学中のプログラムはほぼ上で挙げたとおりでした。学生たちは 4 つのグループに分かれ、フィールドワークなどはグループごとで行動しました。

0 日目は各学生が KAIST まで自力で行き、グループごとに集まって自己紹介しました。その後、KAIST を出てすぐの韓国料理屋で食事をとり、グループ内での会話を楽しみました。

1 日目は KAIST のエネルギー・環境分野を専門とする先生方お二人にレクチャーをしていただき、その後各学生が自らの研究内容についてプレゼンを行いました。各プレゼンについて、KAIST の先生が評価しコメントをくださいました。他大学の学生のプレゼン内容は 1 年間研究した報告であり、約 2 か月しか研究していない東工大生のプレゼンとは質が大きく異なっていると感じました。また、彼らは英語でのプレゼンにとっても慣れているため、プレゼン手法についても勉強になることが多かったです。夜は日本式の寿司屋で夕食をとりました。参加学生のほとんどが寿司が大好物であることは少し驚きました。

2 日目も午前中は各学生のプレゼン、午後はフィールドワークとしてレーザーガンを皆でしたり、企業訪問をしたりしました。企業訪問では VR の技術を実際に間近で見て、韓国の技術力の高さを改めて感じました。夜は farewell party を行い、プレゼンが素晴らしかった者が表彰されました。残念ながら東工大生は選ばれませんでした。アジアの学生の研究能力の高さを感じました。

3 日目はエバーランドという遊園地に出かけました。グループごとに周って楽しむことができました。

全日程通して、KAIST の学生がサポートしてくれたため、とても有意義なプログラムを送ることができました。



図 1 Group 1 のメンバー



図 2 研究発表の様子



図 3 企業訪問にて VR 体験の様子

④ 留学を終えて、自分自身の成長を実感したエピソード

英語で発表することに臆することが少なくなったと思います。また、英語を母語としない学生と話した経験から、会話の際に文法が合っているかなどに慎重になりすぎるべきでないことを学びました。帰国後に大学で留学生と話す際に、学んだことを活かして会話のテンポが上がったように思います。

⑤ 留学費用

費用がかかるのは主に航空券代と KAIST までの電車およびタクシー代、保険料でした。奨学金 4 万円があったため、実質的に要したのは 1 万円程度であったと思います。（お土産代は別です。）

⑥ 留学先での住居

KAIST 内の学生寮に宿泊しました。女子寮は 2 人 1 部屋で、ベッドはついていました。トイレとシャワーは共同使用でした。

⑦ 留学先での語学状況

基本的には英語でコミュニケーションをとりました。日本人の英語の発音が特徴あるように、他のアジアの学生の中にも英語の発音が特徴ある人がいたので、耳が慣れるのに少し時間がかかりました。また、他のアジアの学生は早口なので、ゆっくり話してほしいときには臆せずお願いすることも大切だと感じました。

また、中国語を話せる学生が多いので、少し話せると話題が広がったかな、と思います。

⑧ 単位認定（互換）

単位取得はしていません。

⑨ 留学経験を今後、どのように活かしたいか

私はこれまで短期の留学プログラムにいくつか参加してきました。その度に日本にいと気づかない語学力不足や文化の違いに戸惑うこともありました。今回の留学プログラムも例外でなく、他のアジアの学生との語学力の差は痛感しました。しかし、他国との文化の違いは容易に受け入れられるようになったと感じています。

私は修士課程で中期の留学をしようと考えているので、今までの留学で得た知識をもとに外国の方とたくさん話せるようにしたいと思います。

⑩ 留学先で困ったこと

特にはないです。困ったときには KAIST の学生が色々と助けてくれました。ただ、町で簡単な英語が通じない可能性があることは頭に入れておく必要があると感じました。

⑪ 留学を希望する後輩へアドバイス

この留学プログラムは短期間ですが、タフなものだと思います。研究内容を英語で発表する

こと自体も学部生ではなかなか経験できないですし、周囲のアジアの学生は英語が堪能で日本人は会話に置いて行かれることもあります。しかしその分多くのことを得られる留学プログラムであると思います。費用面に関しては厳しくないですし、アジアの学生の研究内容を知りたい、アジアの学生と仲良くなりたい、と思っている方にはとても良いプログラムだと思います。ぜひ多くのアジアの学生と友達になってください！

報告年月日 2017 年 7 月 28 日

留学プログラム名	4th ASPIRE Undergraduate Research Academy	
所 属 学 院 等 (学院／類／学部／研究科)	工学部	
所属系・コース等 (系・コース／学科／専攻)	無機材料工学科	
氏 名	T.M.	
留 学 先 国	韓国	
留 学 先 大 学 等	韓国科学技術院 (KAIST)	
留 学 期 間	プログラム期間 :	2017 年 7 月 17 日 ~ 2017 年 7 月 21 日
	実際滞在期間 :	2017 年 7 月 16 日 ~ 2017 年 7 月 21 日

① 留学先

プログラム名: **4th ASPIRE Undergraduate Research Academy**

日程: 2017 年 7 月 17～21 日

受け入れ国: 韓国, KAIST

図 1 に実際に渡されたプログラムの詳細を載せました。初日はアイスブレイクを行い、ディナーを食べに行きました。基本的に班行動なので班の方と仲良くなることが出来ます。2 日目の午前中は KAIST の教授の講義を聞きました。Sustainable energy に関する内容の講義で初心者でも分かるような概要についてお話しして頂きました。2 日目の午後と 3 日目の午前は学生のプレゼンテーションが行われました。基本的に先生が生徒の発表に対して質問をするという形式でしたが何人かの生徒は質問を行っていました。大学の先生の質問の内容は深くついたもので、研究が十分に進んでいるが、いまい関係なく質問をしていました。また実用的であるかどうか深く興味を持っていました。全てのプレゼンテーションが終わると残りの時間は学生間で LASER gan 大会や夜のディナー(図 2)、フェアウェルパーティーと豪華に祝福して最後に優秀者の発表と共に ASPIRE のプログラムは終了しました。その次の日は KAIST から少し離れた Ever land というテーマパークで楽しみ帰国しました。

② 留学準備

必要なものに関する留学の準備は前年度に参加した日本人の参加者からお話をお伺い致しました。また英語のプレゼンテーションの練習と事前に行ったために本番で焦ることなく自分の発表が出来ました。プレゼンテーションは 15 分の発表と 5 分間の質問の構成で計 20 分間の発表を行いました。基本的にスピーキングの練習は研究室の留学生の先輩方とのコミュニケーションやグローバル理工人の出していた English Central(図 3)の英会話レッスン等で補っていました。ホテルやビザの手配等は必要なく、寮で暮らしていました。(図 4)

③ 留学活動及び感想

留学の期間としてはとても短いものでしたが、充実した留学だったように思います。自分の研究分野を英語で紹介する機会は貴重なことであり自分にとっても大きな経験になったと思っているので参加してよかったと思っております。(図 5)また世界有名なアジアの大学から集まった方々が多いので彼ら彼女らと一緒に過ごすことでさらに上を目指して将来再び会いたいという気持ちが芽生えました。

④ 留学を終えて自分自身の成長を実感したエピソード

留学を終えて研究室の留学生の先輩と話す時に英語が上達したように感じました。また英語に対する勉強意欲もわいたために将来のために英語をさらに頑張って勉強したいと思います。

⑤ 留学費用

先ず始めに東工大基金から 4 万円を頂きました。留学費用は航空券の 3 万円程、その他交通

費はインチョン空港から大学までの費用として 5000 円程かかりました。食事代はほとんどかかっていません。残りはお土産代等個人的な費用に充てました。そのため殆ど無料で留学を経験することが出来たためにお金の心配はありません。

⑥ 留学先での住居

留学先では留学生用の寮の部屋が与えられ 2 人 1 部屋で生活しておりました。ルームメイトの人は NTU でインドネシアの出身の子だったのでお互いの国の話しをしたり、一緒に朝ご飯を食べたりと仲良くなることが出来ました。

⑦ 留学先での語学状況

現地ではほとんど英語でコミュニケーションを取っていました。自分の TOEIC の点数は 600 点程度ですがコミュニケーションに困ることはありませんでした。人によって鉛があって聞き取りづらい等はありませんでしたが、慣れれば問題ありません。他の国の方々は英語ぺらぺらなのでもう少しスピーキングの方も自分が出来ればなお良いと思いました。

⑧ 単位認定

予定はありません。

⑨ 留学経験を今後どのように活かしたいか

留学の経験を生かして自分の研究の立ち位置が再度理解出来たので研究に打ち込みたいと思います。また英語力がまだ足りていないと感じたために今後はスピーキングやリスニングに力を入れて勉強して行きたいと思います。

⑩ 留学先で困ったこと

留学先で困ったことは韓国のハングル語が全く読めずよく場所が分からないこと一人でタクシー等を使おうとすると英語が使えないためにコミュニケーション手段がなく行き先を伝えるのが大変でした。翻訳アプリ等をダウンロードしてから行った方が良いかもしれません。

⑪ 留学を希望する後輩へアドバイス

このプログラムは他のものと比べるととても充実していますが、4 日間からなるプログラムなためにとっても短いです。現地でやりたいことは躊躇せずに何でも試してみることが大切だと思います。海外の学生の熱心に取り組む姿に圧倒されないように英語力はもちろん気持ちで負けないようにより良い経験をしてきてください。

Time	Day 0 (Mon, July 17, 2017)	Venue
~17:00	Arrival and check in	Serang Hall(Male students)-N14 Aroum Hall(Female students)-N19 *Students who may arrive early can have campus tour! Contact with your student buddies☺
17:00-18:00	Introduction to KAIST, Program Briefing, Ice Breaking activities + Q&A	#204, W2-1 Building *It is highly recommended to arrive at #204 W2-1 Building. Please arrive at no later than 17:00 so that you can take the orientation and ice breaking activities-
18:00-19:00	Dinner	Korean Food SSambob (Rice wrapped in greens and beefs) *We will altogether walk out to the Korean restaurant near KAIST-
Time	Day 1 (Tue, July 18, 2017)	
09:00 - 10:30	Lecture 1	#204, W2-1 Building
10:30 - 11:00	Coffee Break	
11:00 -12:00	Lecture 2	#204, W2-1 Building
12:00-13:00	Lunch	School cafeteria
13:00-14:00	3 Presentations + Q&A	#204, W2-1 Building
14:00-15:00	3 Presentations + Q&A	#204, W2-1 Building
15:00-15:30	Coffee Break	
15:30-17:00	4 Presentations + Q&A	#204, W2-1 Building
17:00-18:00	3 Presentations + Q&A	#204, W2-1 Building
18:00-19:00	Dinner	

Time	Day 2 (Wed, July 19, 2017)	
09:00 - 10:00	3 Presentations + Q&A	#204, W2-1 Building
10:00 - 11:00	3 Presentations + Q&A	#204, W2-1 Building
11:00 - 12:00	2Presentations + Q&A	#204, W2-1 Building
12:00 - 13:00	Lunch	We will take the bus and go to have lunch together- Then we will do industrial visit(ETRI). Then have time to do fun games!
13:00 - 14:00	Industrial visit (ETRI), Fun Games(Laser gun, Bowling)	
14:00 - 18:00		
18:00 - 20:00	Forewell Dinner & Award Ceremony	VESTA(Great Buffet) Award winner will be prized!
Time	Day 3 (Thu, July 20, 2017)	
All Day	Field trip to amusement park Everland/	Yeah! The bus will depart at 9:00 Students are recommended to gather in front of W2-1 Building by 9:00
Time	Day 4 (Fri, July 21, 2017)	
Before noon	Check out and departure	If you want, you can contact to your designated buddies so that they can help you arrange the things that you need-

図 1 現地での行動スケジュール



図 2 farewell party での buffet



図 3 英語学習の際に用いたアプリ



図 4 4日間宿泊した国際寮



図 5 実際のプレゼンテーションの様子

報告年月日 201 年 8 月 4 日

留学プログラム名	4 th ASPIRE Undergraduate Research Academy	
所 属 学 院 等 (学院／類／学部／研究科)	工学部	
所属系・コース等 (系・コース／学科／専攻)	経営システム工学科	
氏 名	R.S.	
留 学 先 国	韓国	
留 学 先 大 学 等	韓国科学技術院 (KAIST)	
留 学 期 間	プログラム期間：	2017 年 7 月 17 日 ～ 2017 年 7 月 21 日
	実際滞在期間：	2017 年 7 月 17 日 ～ 2017 年 7 月 21 日

必須報告事項

- ① 留学先（参加プログラム／受入れ機関）の概略
4th ASPIRE Undergraduate Research Academy

<i>Time</i>	<i>Day 0</i> <i>(Mon, July 17, 2017)</i>	<i>Venue</i>
<i>~16:00</i>	<i>Arrival and check in</i>	<i>Sarang Hall(Male students)-N74</i> <i>Areum Hall(Female students)-N79</i> <i>*Students who may arrive early can have campus tour! Contact with your student buddies😊</i>
<i>16:00-18:00</i>	<i>Introduction to KAIST, Program Briefing, Ice Breaking activities + Q&A</i>	<i>#204, W2-1 Building</i> <i>*It is highly recommended to arrive at #204 W2-1 Building, Please arrive at no later than 17:00 so that you can take the orientation and ice breaking activities.</i>
<i>18:00-19:00</i>	<i>Dinner</i>	<i>Korean Food</i> <i>SSambab</i> <i>(Rice wrapped in greens and beefs)</i> <i>*We will altogether walk out to the Korean restaurant near KAIST.</i>
<i>Time</i>	<i>Day 1</i> <i>(Tue, July 18, 2017)</i>	
<i>09:00 - 10:30</i>	<i>Lecture 1</i>	<i>#204, W2-1 Building</i>
<i>10:30 - 11:00</i>	<i>Coffee Break</i>	
<i>11:00 -12:00</i>	<i>Lecture 2</i>	<i>#204, W2-1 Building</i>
<i>12:00-13:00</i>	<i>Lunch</i>	<i>School cafeteria</i>
<i>13:00-14:00</i>	<i>3 Presentations + Q&A</i>	<i>#204, W2-1 Building</i>

14:00-15:00	3 Presentations + Q&A	#204, W2-1 Building
15:00-15:30	Coffee Break	
15:30-17:00	4 Presentations + Q&A	#204, W2-1 Building
17:00-18:00	3 Presentations + Q&A	#204, W2-1 Building
18:00-19:00	Dinner	

Time	Day 2 (Wed, July 19, 2017)	
09:00 - 10:00	3 Presentations + Q&A	#204, W2-1 Building
10:00 - 11:00	3 Presentations + Q&A	#204, W2-1 Building
11:00 - 12:00	2 Presentations + Q&A	#204, W2-1 Building
12:00 - 13:00	Lunch	We will take the bus and go to have lunch together. Then we will do industrial visit(ETRI). Then have time to do fun games!
13:00 - 14:00	Industrial visit(ETRI),	
14:00 - 18:00	Fun Games(Laser gun, Bowling)	
18:00 - 20:00	Farewell Dinner & Award Ceremony	VESTA(Great Buffet) Award winner will be prized!
Time	Day 3 (Thu, July 20, 2017)	
All Day	Field trip to amusement park Everland/	Yeah! The bus will depart at 9:00 Students are recommended to gather in front of W2-1 Building by 9:00
Time	Day 4 (Fri, July 21, 2017)	
Before noon	Check out and departure	

② 留学前の準備

留学情報の入手方法、専門分野・語学の準備方法、留学先の研究室に所属した場合は、留学先大学の指導教員との準備、ビザ取得方法、住居の探し方など。

ASPIRE のプログラムを知ったきっかけは、昨年度の参加者の方からお話を伺ったことです。追加募集があると聞き、選考に応募しました。選考は書類と面接によって行われました。書類の応募理由は英語で書くため、研究室の留学生に添削をしていただきました。また面接に際しては、自身の応募動機と研究内容を英語で説明できるように準備をしておきました。

留学の書類手続きや保険、航空券の予約等はすべて国際連携課の方から指示がありま

した。それに従って期日通りに行動することで準備ができました。また去年の参加者の方とお話をする機会を設けていただいたので、持って行った方がいい持ち物など細かい部分に関してあらかじめうかがうことができました。搭乗する飛行機の便などは一緒に参加する学生と相談しました。

留学前の準備に最も時間をかけたのは、プレゼンの作成です。このプログラムのメインとして、参加者全員が自分の研究内容について発表するというものがあります。約 12 分の発表と 8 分程度の質疑応答が予定されていました。そのため事前の練習会でのご指摘を基に指導教官の教授にアドバイスをいただきながら準備をしました。

③ 留学中の活動及び感想

あらかじめ連絡のあったプログラム通りに行動をしました。空港から KAIST まで移動するのに少々時間がかかることもあり、あまり個人で観光をする時間はありませんでした。延泊をすれば観光もできると思います。しかし、プログラムの中にテーマパークの観光なども含まれていたため十分に楽しむことができました。

1 日目は夕方から自己紹介、アイスブレイクがありました。時間が遅いこともあり顔合わせがメインの日でした。

2 日目は教授 2 名による講義が午前中にあり、午後は学生による研究発表が順番に行われました。研究発表の順番に関しては、1 日目に知らされました。私の専攻とは異なる発表が多かったものの、専門外の人でもわかりやすい説明のプレゼンが多かったです。

3 日目は午前中に学生の研究発表が最後の人まで行われました。午後はバスで大学外に移動し、アクティビティや施設見学をしました。また夕食時に優秀なプレゼンを行った学生の表彰が行われました。

4 日目は朝からバスで移動し、テーマパークを観光しました。夜も学生同士でトランプをしたりと、学生同士でたくさんのコミュニケーションがとれた 1 日でした。

最終日は、準備が整った学生から解散という形でした。東工大から参加した 3 人で一緒に帰国しました。



テーマパーク観光（左）と施設見学の様子（右）

④ 留学を終えて、自分自身の成長を実感したエピソード

他国の学生等との交流、海外における勉学・研究等の学校生活や日常生活を経験して、自身の成長を実感したことと思います。留学前に立てていた目標に対する達成度や苦労話など、何でも結構ですので、自身の成長を実感した中で一番記憶に残っているエピソードを記入して下さい。

今回のプログラムは私にとって初めての留学だったため、日常生活から海外の学生と

の交流まで全てが刺激的でした。その中でも一番記憶に残っているのは、メインイベントである研究発表です。

今まであまり英語でプレゼンを行う機会が多くなく、資料を見ないでというのは初めての経験でした。そのため今回プレゼンを終えられたことは自分にとってとてもよい経験となったと思います。拙い英語ながらも教授の方々に自分の研究の有用性を理解していただけたことが嬉しかったです。しかし質問に対して十分に回答できなかったりと、自分の英語力を見直す必要性を痛感させられました。

⑤ 留学費用

渡航費、プログラム参加費、生活費、住居費、保険料、奨学金の有無など。

渡航費は、航空券が往復約 3 万円程度でした。ですが仁川空港から KAIST がある大田まではそこそこ距離があるので、ここで案外費用が掛かりました。片道で約 4000 円程度だったと思います。私は電車を使って移動したのですが、バスを使えばもう少し費用を抑えられたかもしれません。食費は朝食以外ほとんどかかりませんでした。大学内の寮で生活していたため住居費や生活費もあまりかからなかったです。

奨学金は東工大から 4 万円ほどいただきました。

⑥ 留学先での住居

住居（寮、ホームステイ等）、申し込み方法、ルームメイト、その他。

留学の間は KAIST 内の寮に宿泊していました。二人一部屋で、同じプログラムに参加する他大学の学生がルームメイトでした。申し込み方法などは特になく、KAIST の方で寮や部屋割りなどを準備していただきました。

トイレやシャワールーム、水道は共同のものを利用しました。石鹸等は自分で持って行った方がよいと思います。またシャワールームから部屋への移動用に、ビーチサンダルのようなものを持っていくと便利だと思いました。

⑦ 留学先での語学状況

例えば、留学期間中は〇〇語を使用。留学前の TOEFL 等語学試験は、〇〇だったが、十分であったなど。

⑧ 単位認定（互換）

留学中に取得した単位の認定（互換）を東工大で行ったか（行う予定か）。
なし。

⑨ 留学経験を今後、どのように活かしたいか

海外の学生を見て、自分もより研究活動に励んでいきたいと感じました。またこの経験を英語を学んでいく際のモチベーションにしていきたいと思います。

⑩ 留学先で困ったこと（もしあれば）

持参したドライヤーが電圧の関係上使えませんでした。

⑪ 留学を希望する後輩へアドバイス

このプログラムは 5 日という短い期間ながらも、密度の濃いととても充実したものでした。留学が初めて、という人も参加しやすいプログラムだと思います。世界各地で自分たちと同じように研究に打ち込む学生がいると知れるまたとない経験です。同時に自分の研究を見つめなおすよい機会になるとと思います。ぜひ参加してみてください。